

基本目的 7 確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ

3
カ
年
の
ポ
イ
ン
ト

基礎学力充実を目的として、小学校の国語・算数の授業、中学校の英語・数学の授業について、1学級30人以下の少人数授業を行います。

小中学校4校施設の改善のため、PFI手法による改築改修整備を実施します。

小中学校の校舎、体育館の耐震性能向上のための耐震補強工事を平成17年度までに完了します。

大規模校に教育活動支援補助員を配置するとともに、備品を充実します。

小学校の英語活動の充実のため、新たに英語指導員を派遣するとともに、中学校の英語指導員を増員し、各学級で1週間に1時間はネイティブによる教育を受けることのできる体制をめざします。

増加する外国人園児児童生徒の日本語指導を充実するために、適応指導員の派遣を拡充します。

第2ふれあい教室を設置し、増加する不登校児童・生徒の受け入れを充実します。

学童保育所の運営や設置に対して支援します。

人と人との出会いを通じて自主性や協調性を養うために子どもと若者の居場所づくり事業を実施します。

新たに次世代育成支援対策推進法に定める「次世代育成支援行動計画」を策定します。(計画期間:平成17～26年度)

保育園において多様な保育サービスを拡充します。

延長保育: 実施保育園12施設 13施設、保育時間19時まで 需要の高い保育園について20時まで1時間延長

一時保育: 実施保育園4施設 6施設

休日保育: 実施保育園0施設 1施設

基本目的の達成度を測る指標

指 標	平成14年度値	平成15年度見込み値	平成18年度目標値
学校教育の充実についてのプラス評価	3%	3%	4%
学校情報化・適応指導に関する教職員・保護者の満足度	60%	79%	85%
保育所持機児童数	8人	0人	0人